

参加者：約150名

概要：

はじめに：足立 崇（気象庁総務部）  
 [司会] 佐藤信夫（気象庁数値予報課）

1. 気象庁の新しい数値予報システム  
 : 露木 義（気象庁数値予報課）
2. 気象庁モデルを使った研究について
  - (1) 数値モデルに関する気象庁と大学の研究協力について  
 : 岩崎俊樹（東北大学大学院）
  - (2) 気象庁モデル利用の実例
    - ア 「ポーラーロウ」のシミュレーション  
 : 柳瀬 亘（東京大学海洋研究所）
    - イ 気象庁NHMと英米国のメソモデルの比較

など

: 中村晃三（東京大学海洋研究所）

3. 日本の長期再解析計画について
  - ア 気象庁の取り組み  
 : 小出 寛（気象庁気候情報課）
  - イ 電力中央研究所の取り組み  
 : 筒井純一（電力中央研究所）

(注) 気象庁では、2000年7月から大学・国立研究所から気象庁モデルを研究目的で利用するための申請があった場合には、一定の利用条件遵守を条件に、①MRI/JMA非静力学モデル、②JMA領域モデル、③JMA/MRI全球大気モデルを貸与している(問い合わせ先：気象庁総務部企画課技術開発調整官)。



## 教官（北海道大学大学院地球環境科学研究科）の公募

当研究科では下記により教官を公募いたします。

記

職名および人員：教授1名

所 属：大気海洋圏環境科学専攻化学物質循環講座

研究と教育分野：大気海洋を中心とした物質循環研究を広い視野に立って展開して行く方。特に、化学物質（放射性同位体、安定同位体を含む）を主な手段として新しい分野を切り開いて研究を進めて行こうとする方が望まれる。また、地球環境科学に関する大学院教育に意欲を持ち、学生の教育や研究指導ができる方。

着任時期：平成14年4月1日以降なるべく早い時期

提出書類（A4版）：

- (1) 履歴書
- (2) 研究業績リスト（査読付き論文とその他を分けて記載）
- (3) 主要論文の別刷り（5編以内、各2部）

(4) 地球環境科学に対する基本姿勢（A4版1枚）

(5) これまでの研究と今後の研究及び教育に関する抱負（A4版2枚）

応募締切り：平成13年10月29日（月）必着

書類提出先：〒060-0810

札幌市北区北10条西5丁目

北海道大学大学院地球環境科学研究科

大気海洋圏環境科学専攻

専攻長 山崎孝治

書留送付（封筒の表に「教官応募」と朱書きのこと）  
 なお、応募書類は返却しない。

電話：011-706-2361

E-mail：yamazaki@ees.hokudai.ac.jp

問い合わせ先：乗木新一郎

電話：011-706-2369

E-mail：noriki@ees.hokudai.ac.jp

URL：http://www.oes.hokudai.ac.jp